

常陸太田市教育委員会臨時会（2月）会議録

- 1 日 時 令和8年2月12日（木）午後4時30分～午後6時00分
- 2 場 所 常陸太田市分庁舎2階 203・204会議室
- 3 出席委員 教育長 滝 睦美
委 員 井坂 文雄（教育長職務代理者）
委 員 谷下田 幹子
委 員 井上 哲
委 員 中島 美那子
- 4 欠席委員
- 5 事務局職員 教育部長 綿引 久雄
教育総務課長 吽野 靖司
指導室長 梶山 啓
生涯学習課長 高倉 伸幸
文化課長 岡田 一義
スポーツ振興課長 和田 佳明
図書館長 宇須井 淳
給食センター所長 安嶋 勝弘
- 6 会議録署名委員 谷下田委員
- 7 議 題 常陸太田市立学校の今後の在り方について
- 8 その他
- 9 閉 会

教育長	<p>【教育長あいさつ】</p> <p>議題「常陸太田市立学校の現状と今後の在り方について」説明します。</p>
教育長	<p>常陸太田市立学校の現状と今後の在り方について【説明】</p> <p>これまでの学校施設検討協議会における答申等及び学校施設整備計画策定の経緯について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の本市の在り方について意見をいただくことを目的に令和8年度当初に検討協議会を設置予定。 ・設置にあたっては、教育委員会であらかじめ検討いただきたい内容を協議したい。 ・検討協議会で1年程度話し合いを行い、年度末に答申をいただく。 ・答申をいただいた後に、答申内容を踏まえた学校再編計画を策定する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校をまとめていく（統合する）ことは、ハードルは高いと思う。人情的には地域に残した方がスムーズに行くのではないか。 ・小中一貫校にする場合、自分の位置、安全な場所が固定化することはプラスではなく、マイナスの部分があり、変化を求めたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を統合することは、生活圏もあるし、国県が示すようにクラス替えができる人数が必要等、条件を大きく打ち出す必要があるのではないか。 ・児童生徒数が少ないからではなく、子供の学び、教育活動を保障するためには、将来的に学校が何校必要なのか。話の進め方が大事である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校として、同じ学校で9年間一緒に学ぶことで変化がない場合、その後の人生にどう影響していくのかメリットデメリットを知りたい。 ・学校を自由に選べることは選択肢が増えるが、一方で保護者の送迎など負担も増えるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学校があることで地域の活性化につながるというのが大人の視点だが、学校は子供たちのためであることを大切にしたい。 ・学校の在り方を見直していくことが大事である。多様性のある学校、子供たちが行きたい学校を選べる社会が今後必要となるのではないか。
各課等の長	<p>その他連絡事項について</p> <p>「市教育委員会の中学校卒業式出席者について」【説明】</p>
教育総務課長	<p>次回教育委員会定例会（2月）日程について</p> <p>日時 令和8年2月17日（火）午後3時00分～</p> <p>場所 常陸太田市分庁舎 2階 201・202 会議室</p>

会議録署名委員.....谷下田 幹子.....